

# えんちょう先生の わくわくだより

H29. 8. 4 NO. 12



## 夏は平和を心に刻む季節

72年前の8月6日と8月9日、世界で初めて日本の広島と長崎に原子力爆弾が投下されました。戦争の時代を生きた方々もだんだん少なくなり、これらの日を特別な日と感じなくなってしまいつつあるとテレビで報じていました。今、世界は不穏な空気が漂い始めています。子ども達の為に、何があっても戦争はしない！と心に誓っていきたいですね。

親は子  
育ててきたと  
言うけれど  
勝手に赤い  
畑の トマト  
俵 万智  
サラダ記念日より



## ことばの伝え方も、少しずつ練習だね。

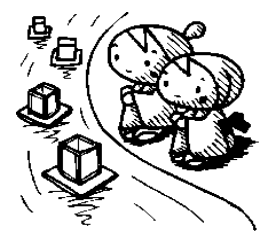
毎朝、3才以上児のその日の当番の子が、「園長先生、おはようございます。〇〇組の△△です。今日のお休みの子は・・・」と順に職員室に伝えに来てくれます。当初は、もじもじした二人が、蚊の鳴くような小さくたどたどしい声を絞り出していたのが、何回か来る内に、姿勢もしゃんと立って、はっきりした口調に変わってくるのに驚きます。小さい年少組の子も、一生懸命にお休みした子の名前を思い出して、指を折りながら伝えてくれる可愛さに、つい微笑がこぼれます。年少さんには「今日は、プールで元気に遊びましょう」と伝えたり、年中、年長組になると、少し難しく「手足口病にならないように、手洗いとうがいをしっかりやりましょう」などの伝言をし、こども達は、部屋へ帰る道々、口でつぶやきながら、忘れずにクラスに戻り、待っている友達皆に話します。

「もじもじしないで、ポケットから手を出して立ってね。」「まずは、大きな声で、朝の挨拶からしょうか?」「もう少し、口を大きくあけるとよく聞こえるよ」などと、話したり、「今日は、大きな声が出たね」「さすが、年長、もうすぐ、一年生だもんね」などという会話をしながら、子ども達を励ましたりもします。言葉の伝え方も、ワンポイントアドバイスで随分変わってきます。こどもというのは「もっと上手になりたい」と常に向上心がありますから・・・  
誉めながら、ちょっと方法を教えながら、繰り返し繰り返し・・・が大事ですね。2歳になると、「言葉の爆発期」とも言われる位、喋る事が楽しくなってきます。何も言わなくても目の前に物が出てくるような生活をさせない様に、自分が何をどうしたいのかを相手に伝える練習がこの頃から大事になります。

H15. 6. 26

沖縄県の全戦没者を悼む「慰霊の日」追悼式で日本の一番西にある小学校、沖縄県与那国町立久部良（くぶら）小一年生の安里有生君六歳が、読んだ自作の詩です。

へいわってなにか ぼくはかんがえたよ おともだちとなかよし かぞくがげんき ねこがわらう おなかがいっぱい やぎがのんびりあるいてる けんかしてもすぐになかなおり ちょうめいそうがたくさんはえる よなぐにうまが、ヒヒーンとなく みななどにはフェリーがとまっていて うみにはかめやかじきがおよぐ やさしいところがにじになる	へいわっていいね へいわってうれしいね みんなのころから、 へいわがうまれるんだね。 せんそうは、おそろしい 「ドーン、ドカーン ぼくだんがおちてくるこわいおと。 おなかがすいて、くるしむこども。 かぞくがしんでしまってなくひとたち。 ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。 このへいわが、ずーとつづいてほしい へいわなかぞく、へいわながっこう へいわなよなぐにじま、	へいわなおきなわ、へいわなせかい へいわってすてきだね これからも、ずっとへいわがつづくように ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。
--	--	---



♥保育の中から・・・箸を忘れて給食室に借りに来たMちゃんです

M子 「はし・・・」  
保育士 「箸がどうしたの?」  
M子 「・・・ない」  
保育士 「箸がないでどうするの?」  
M子 「・・・」  
保育士 「こうゆう時は、箸を忘れたで貸してって言うのだよ」  
M子 「箸、かして」  
保育士 「はいどうぞ・・・と渡す」

## ◆ありがとうございました

7月の始めに、恵那地区更正保護女性会の方より、真新しい雑巾15枚を頂きました。会員の皆さんで縫って頂いたとの事です。ありがたく使わせて頂きます。